



東本郷

元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい 東本郷小

学校だより

令和3年11月1日発行
川口市立東本郷小学校
TEL: 284-8076

創立43年 東本郷小の限らない発展を目指して

校長 朝倉 伸行

朝夕の冷たい空気が秋の深まりを感じさせる季節となりました。先月は、5年生が千葉県富津市にある川口市立大貫海浜学園へ今年度初めての校外学習に行きました。例年とは異なる日帰りの実施とはなりましたが、海岸のハイキングや貝拾いを通して豊かな自然に触れました。また、東京湾観音からは見た景色は壮大で思い出の一つになったのではないかと思います。翌日には、学校で竹細工づくりやキャンドルファイヤーなどの体験活動を通して、思い出づくりと仲間との絆を深めました。

また、先月29日には、校内音楽会を実施しました。緊急事態宣言は解除されたとはいえ、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して、保護者や地域の皆様にご覧になっていただくことは叶いませんでした。今年も合唱は行わず、各学年が披露する合奏や音楽劇を学年ブロックで鑑賞することとなりました。2学期からコツコツと練習をしてきたことを児童一人一人が発揮し、1つの形となった演奏はきれいで、感想を伝える代表児童の言葉から演奏のすばらしさを感じることができました。

このように、学校教育目標である『考える子 心豊かな子 元気な子』の育成に向けて、日々、様々な教育活動が実践されるなかで、本校は11月2日に43回目の開校記念日を迎えます。今年、校長として本校に着任しましたので、本校を知るために、その歴史を調べました。今月の学校便りでは、開校記念日にちなみ、開校当時のことを少しお伝えします。

本校は、昭和55年、市内で40番目の小学校として開校しました。初代校長 渡辺欣弥 先生をはじめとした26名の教職員と、新郷小と新郷東小などから660名、新入学児童159名を迎え、819名の児童、21学級でスタートしました。開校当時は、平屋建てプレハブ校舎が8棟も並んだそうです。

また、校章の由来についても調べました。この地は、鎌倉の昔、谷古宇郷と呼ばれ、その後、江戸代官が治めた土地であったそうです。古くからの土砂の堆積により水稻耕作に適し、水田地帯として歴史を刻んできました。今日、都市化してきましたが、黄金の波で覆いつくした稲の習性と生命力を本校に学ぶ子供たちの生命力に結び付けて校章を表現したそうです。

校章に込めた開校当時の人々の思いと、43年間の本校の歴史と伝統を引き継ぎながら、これからの時代に適応し、未来を見据えた新たな歴史のページを加えながら未来につなげていくことが、今の東本郷小学校の責務と考えます。そのためにも、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様の本校教育活動へのご理解とご協力は不可欠です。

今後も、『元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい』の子供たちを育てるために、学校・家庭・地域が同じ方向を見据え、共に歩む東本郷小学校をさらに継続、発展させてまいります。

